

ゆりはま 議会だより

Vol. 86

令和 7 年 8 月 1 日 発行

発行：鳥取県湯梨浜町議会



湯梨浜町議会
ホームページはこちら

- 温泉熱でマンゴー栽培 … 2
 - 町営住宅をシェアハウス … 4
 - 健幸ポイントで医療費抑制 … 7
 - 町民インタビュー … 16
- ～世界へ広がれグラウンド・ゴルフ！～

「たのしいなつまつり」
(はわいこども園)

令和7年6月定例会

一般会計補正予算

予算総額 **7250万円を追加し**
114億4240万円

温泉熱を活用したマンゴー栽培を軸として、県中部エリアの玄関口という立地条件を活かし、拠点（総合案内所）を整備する。本年度に基本構想案を策定し、令和8年度には実施計画を策定、

観光の基本構想案を委託

99万円

補正予算

令和7年6月定例会は、6月10日から19日まで開催されました。
今定例会に提案された令和7年度一般会計補正予算などの13議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。
また、議員発議による国に提出する意見書2件を原案のとおり可決しました。

温泉熱でマンゴー栽培

令和9年度に事業を実施の予定。

町営住宅を
シェアハウスに

536万円

町は、官学連携として学校法人藤田学院と包括協定を締結。その一環として、東郷団地の一部（2棟）



若者のために町有資産を有効活用（東郷団地）

給食配送車、令和7年度分の購入費用

316万円

をシェアハウスとして活用し、同法人が運営する鳥取短期大学、鳥取看護大学の学生が低額で入居できるよう、町から同法人に補助を行なう事業を計画している。
今回は、シェアハウスとして賃貸するにあたって、必要な修繕を行なう。今後、必要な家具などを整備する予定。（関連記事は4ページ）



納車が待たれる給食配送車

カーナビ
NHK受信料が発生

72万円

役場公用車及びマイクロバス計7台のカーナビについて、これまでNHK受信契約がなされていなかったことが判明した。これにより、各車両のカーナビ設置当初まで遡ったNHK受信料の支払いが必要となった。

令和6年度に、東郷小学校給食配送車の購入を契約。6年度中に完成予定であったが、コンテナ部分の製作が遅れ納入されなかった。
令和6年度には出来高を支払っており、残りのコンテナ部分を令和7年度に支払う。

安心な道路へ

5千万円

令和3年7月の梅雨前線豪雨により被災した町道泊中央線について、被災後、その原因について観測、調査を続けた結果、地すべりによる災害と判明した。

令和6年3月に国査定を受け、令和6年6月から災害復旧工事に着手し、災害箇所

の復旧及び施工後の地すべり防止を図っている。

災害復旧本工事の現地再精査を行ない、鋼管杭掘削時の汚泥処理、鋼管杭用仮足場の追加などにより、増額補正が必要となった。

定置網復旧支援

2千290万円

今年5月に発生した急潮

及び強風により被害を受けた定置網の早期復旧を図るため、鳥取県漁業協同組合に対して、網の修繕や土のう設置など、復旧経費の一部を支援する。

条 例

投票立会人など

報酬を増額

本町の選挙長、投票管理者、投票立会人などの報酬額は、条例で定めている。

最近の物価高騰などを考慮して国の法律が改正され、今後の選挙に適用されることから、湯梨浜町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例を改正し、報酬を約13%増額する。

そ の 他

土地開発公社の解散

湯梨浜町土地開発公社が所有していた分譲地がすべて完売。また、所有が公社であった残余土地もすべて処分した。その結果、土地開発公社の目的を果たしたと判断したため、解散の手続きを進める。（関連記事は5ページ）

財産区管理委員を選任

長瀬財産区管理委員の任期満了に伴い、新たな管理



再開が待たれる定置網漁

委員7人の選任について同意した。任期は令和11年7月13日まで。

（敬称略）

・磯江 いそえ のほる 昇
・林 はやし まさのり 雅則
・山田 やまだ まさかつ 雅克
・伊藤 いとう ただし 忠司
・村口 むらぐち めぐみ 恵
・戸崎 とさき かずひろ 和博
・青木 あおき えいじ 栄治

東郷湖羽合臨海公園 (南谷地区) を再整備

☆県が策定した「東郷湖羽合臨海公園パークビジョン」をもとに、南谷地区などの東郷池北エリアで段階的に施設の充実が図られる。

トイレの改修、駐車場拡張や噴水広場・休憩所・ボルダリング・遊具新設などが計画されている。

問 全天候型の遊び場を求める声がある。公園の一角に設けては。

夢広場側だけでなく、キリン公園側でもキッチンカーを配車できないか。

答 夢広場がお盆などの数日間、無料開放されている。今後、県や管理者へ無料開放期間の拡大を働きかける。

問 夢広場側だけでなく、キリン公園側でもキッチンカーを配車できないか。

答 県の見解では、駐車場を拡張できる余地がなく実施は難しいとされている。

問 県が実施主体だが、町も整備費を負担するの。

答 現在の計画では町が負担することはない。

問 現在、県が策定した「東郷湖羽合臨海公園パークビジョン」をもとに、南谷地区などの東郷池北エリアで段階的に施設の充実が図られる。

町営住宅を改修し学生シェアハウスを整備
☆鳥取看護大学・鳥取短期大学などを運営している学校法人藤田学院と地域連携の包括協定を締結。
町営住宅の空き物件を改修しての学生シェアハウスの



再整備が待たれる東郷湖羽合臨海公園
(南谷地区)

整備をはじめ、教育・福祉・地域活性化など多分野での協力を進め、若者定着や地域の課題解決をめざす。

問 学生シェアハウスに入る学生の、卒業後の地域との関わりは。

答 まずは町で暮らし、地域と関わってもらうことに期待している。そこから地域への関心を深め、定住につながればよいと思う。

また、県外からの学生でも卒業後の県内就職率は高い。

問 シェアハウスを考えたきっかけは。

答 同法人から、空き家を活用して学生が地域で暮らし体験をしてほしいという提案があったため。

問 町営住宅を学生に賃貸して、町民が入れなくなる心配は。

答 対象物件は現在空き家で老朽化も進んでおり、入居募集を停止していたもの。

町職員用のパソコンを更新

☆OS更新のため業務用パソコン266台を一括購入するための物品売買契約が提案された。契約金額は、3千553万円。

問 リース契約も検討したのか。

答 現在は職員がパソコンのメンテナンス・管理を行っており、今回は従来どおり購入で対応する。

今後は職員の負担も考慮し、リースや外注などの方法も検討する。

問 今後も定期的な買い替えが必要か。国からの支援などはないか。

答 更新は6年を基本として、計画的に行なっている。全額町費で支出しており、自治体業務に必要な経費だと認識している。

県、汚水処理広域化を検討

☆人口減少により下水道使用料の増額が懸念されることから、県より施設の統廃合について3つの案が示された。中部1市4町の令和9年度から令和100年度までの削減効果の試算総額は次のとおり。

- ①天神浄化センターに集約する案は、約200億円。
- ②天神・大栄・東伯浄化センターの3か所とする案は、約120億円。
- ③天神・東伯浄化センターの2か所とする案は、約170億円。

問 今後どのように進めていくのか。

答 地元、関係市町と相談し、今年度中の基本合意をめざしたい。

問 費用削減効果には、建設費用なども加味されているのか。

答 天神や東伯などの施設は、現状の施設で処理ができる。施設の維持管理費は加味されて



広域化の核となる天神浄化センター

いる。

問 統廃合の後、山間部はどのように処理していくのか。

答 統廃合が困難な地域は浄化槽を現状維持していく。

埋設農薬は6・7月に試掘

☆県道倉吉青谷線改良工事が令和6年度から9年度に予定されているが、用地の一部に現在では使用禁止の農薬が埋設された記録が県にある。

県が調査した結果、埋設が行なわれた反応が確認されたため試掘を行なう。

問 農薬はいつ埋設されたのか。

答 昭和46年から47年にかけて、当時の合法的な方法により埋設された。

問 県内には他にも埋設農薬はあるのか。

答 何か所かあると承知している。

ただし、悪用される危険性や風評被害などが懸念されることから、情報公開はされていない。

問 埋設農薬を処理する場合の負担区分は。

答 農薬が確認された場合は、関係機関で協議した上で負担区分を決定する。



完売した磯坪団地

土地開発公社の解散

☆土地開発公社所有の分譲地が完売となり、公社設立の目的を果たしたことから、法律の規定に基づき議会の承認を得て解散手続きを進める。

問 解散時期はいつか。

答 令和7年10月頃、県知事に清算終了届を提出するよう手続きを進める。

「いづども計画」に移行し、 若者や家庭を支援

☆令和7年3月に策定した「第3期湯梨浜町子ども・子育て支援事業計画」に、「市町村子ども・若者計画」の要素を加え、「湯梨浜町いづども計画」に移行する。策定に向け、ニーズ調査やパブリックコメントを実施する予定。

問 中学生や高校生など、幅広くアンケート調査を実施しては。

答 15歳から39歳の町民700人を対象に、ニーズ調査を行なう。「ゆりはま若者会議」での意見も反映したい。

問 市町村子ども・若者計画の要素を加えるとのことだが、具体的には。

答 ひきこもりや就職困難な若者への支援や、若者が働きやすい社会環境の整備、婚活支援など



子ども・若者に寄り添った支援に期待
(ゆりはま若者会議の報告会)

を加える。

問 計画の要旨が明確になるよう、概要版の提示が必要では。

答 議会には、アンケート結果や計画策定の経過を適宜報告する予定。その際に概要版を作成し、要点を絞って説明する。

羽合第3児童クラブ 開設で過密緩和

☆羽合地域の児童数増加による放課後児童クラブの過密解消が喫緊の課題であった。

対応策として、旧たじりこども園を活用し、4月に羽合第3児童クラブを開設。4月の平均利用人数は33人で、スムーズな運営が行なわれた。

問 第3クラブの開設によつて過密状態は解消されたのか。

答 3クラブに分散したことで過密状態が緩和された。

問 例年、夏休みになると利用者が増えるが、現在の体制で大丈夫か。

答 学校の体育館や空き教室を借り、子どもたちが分散して過ごせるように運営していく。

課題が見えた 教育行政

☆令和6年度の5つの重点目標・26の施策について、教育行政の報告を受けた。

問 全国学力テストが全国平均を下回っているが、改善策は。

答 これまでの取り組みが成果に結びついていない。地道に若手教員の指導・研修・助言を行なっていく。

問 家庭学習時間が全国平均を下回る現状をどう捉えているか。

答 特に中学校では、全国平均の半分程度の時間であり、懸念している。

中学1年生を対象に地域の教員OBなどが協力して開催する「地域未来塾事業」を月2回から3回に増やし、家庭学習の定着を図る。

民間こども園

来年の開園に向けて工事着手

☆施設の名称は「ゆりはままなびや園」に決定。国の交付金約1億9千万円は、令和7年4月に内示を受け、交付申請を行なった。運営する「株式会社まなびや園」は、5月に地区への説明会を実施し、6月下旬から7月上旬には工事に着手する予定。

問

この施設は保育士の待遇改善策として給与制度の検討が示されているが、本町の場合はどうか。

きるのは、3歳児以上で教育部分を利用する1号認定の5人のみ。残りの75人は町が決定する。

答

公立こども園の保育士は、町の条例に基づいた給与となる。会計年度任用職員については、資格の有無に応じて給与を支給している。

問

町から補助金を支出するが、町内の子どもが優先して入園できるのか。

答

園が自由に契約で



2歳児から始まるレッスンの様子
(とっとりまなびや園)

定員に余裕があれば、町外からの入園希望者も考慮する。

問

保育料とは別に、レッスン料7千円が徴収されるが、レッスンを希望しない場合は、レッスン料は不要となるのか。

答

2歳児以上は全員がレッスンを受けるため、レッスン料が必要となる。

問

計画の平面図ではプールがないが、どう対応されるのか。

答

プールの設置義務はない。鳥取・米子のまなびや園では、近隣のプールを利用している。湯梨浜の園は検討中である。

「健康ポイントプログラム」で医療費抑制に期待

☆ウォーキングを中心とした運動習慣化プログラム「ゆりはまヘルシーくらぶ」で一定の効果をあげてきた。これまでのデータをもとに事業推進を図り、5年間で社会保障費（医療費・介護給付費）1億5千万円の適正化を目標に据え、成果連動型委託契約による新たな「健康ポイントプログラム」を実施する。

問

年代別・男女別・疾病の有無などを総合的に判断して分析しなければ、本当に削減効果があるのか分からないのでは。

答

使用したデータは国民健康保険・後期高齢者のデータに限られる。

より細分化した分析が可能であるが、委託業者に問い合わせる。

問

事業費の総額1億1千300万円は、委託費の変動を見越したものか。

答

5年後の社会保障費削減目標の1億5千万円を達成できた場合の上限額。達成率に応じた成果報酬を支払う契約であるため、成果が低ければその分減額する。



みんなで楽しく健康づくり
(ゆりはま天女ウォーク)

本会議での採決結果

6月定例会

※議案の採決は、磯江議長を除く11人で行ないました。

議案の内容 (○：賛成 ×：反対など)	光井	小川	河田	増井	小泉	森	米田	浜中	南	三谷	松岡	結果
全議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成11人 可決

陳 情 審 査 結 果

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行ない次のとおり決定しました。

件 名	陳情者名	採決結果	委員会の意見
裏金問題の徹底解明と パーティー券購入を含む 企業・団体献金の禁止を 求める陳情	平和・民主主義・豊かな暮 らしをめざす鳥取県の会 (鳥取県革新懇) 代表世話人 村上 俊夫	採 択	国に意見書を送付
地方財政の充実・強化を 求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 三浦 敏樹 湯梨浜町職員労働組合 執行委員長 宮脇 和宏	採 択	国に意見書を送付

請願、陳情はFAX・電子メールでの提出も受け付けます！

記載内容、提出先など手続きに関することは、町ホームページをご確認いただくか
湯梨浜町議会事務局へお問い合わせください。

【電話】0858-35-5341 【FAX】0858-35-5342

【メールアドレス】ygikai@yurihama.jp



お詫びと訂正

令和7年7月発行「ゆりはま議会だより第85号」の内容に誤りがありました。お詫び
して訂正いたします。なお、ホームページのPDF版は既に訂正しています。

【訂正箇所】

○13ページ「自由診療への助成で、がんの早期発見」
見出し左部「☆通常の～」5行目

(誤) 150万円の寄附を想定し、200名程度の

(正) 150万円の寄附を想定し、20名程度の

町政をただす



6月定例会では、8人の議員が一般質問を行ない、活発な議論を展開しました。

一般質問とは、議員の日常の活動と調査研究、住民の声や自身の考え方にもとづき、町長や教育長の方針を問い質すものです。

質問時間は、答弁も含めて1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質問事項	ページ
南 克憲	通学路の安全対策と指導は	10
小泉かさね	湯梨浜町に住む人の声を町政に反映させる方法は	10
小川 遊	「部活動の地域移行」に町はどう関与するか	11
森 哲也	自営業者に育児手当の創設を	11
三谷 侑生	子どもや若者の町への関心・愛着を育む取り組み強化を	12
	スピード感を持って子どもの遊び場の確保を	
松岡 昭博	農業構造をどう変える	13
	山下がり水が居住環境に悪影響	
増井 久美	商品券をやめ、現金給付にのでは	14
	教材費に補助を	
米田 強美	公共施設の縮減は進んでいるか	15
	Uターン就職の推進を	

通学路の安全対策と指導は

教育長

学校、保護者、地域が一体となり取り組んでいる



みなみ
南

かつのり
克憲



歩車分離式信号機の導入が望まれる
羽合小入口交差点

【南】小学生の登下校時の交通安全に関して、重要なポイントがいくつかあると思うが、児童への指導の実態は。

【教育長】3小学校とも、新1年生の入学後すぐに全校児童を対象に、登校班に分かれて、横断歩道の渡り方、通学路の安全な歩き方などの指導をしている。学校、保護者、地域が一体となり取り組んでいる。

して通学路の整備、交通安全標示、自転車通行帯は整備されているか。

【町長】通学路にマスコット看板を設置、中学生の通学路の歩道を自転車で行き通すとした。また、羽合小学校周辺をゾーン30のエリアに指定。今年度は、カーブミラーを設置する予定。

【教育長】平成24年5月に「湯梨浜町通学路交通安全プログラム」を策定し、危険箇所の必要な対策内容について、現地で協議を行なうなど通学路の安全確保を図っている。



こいずみ
小泉かさね

湯梨浜町に住む人の声を 町政に反映させる方法は

町長

連携を図り、適切に対応している

【小泉】発言方法の整備と同時に、町民から得られた意見を体系的に集約できるシステム面の整備も重要だと考える。現状と今後の展望は。

【町長】対応可能なもの

【町長】職員が受けても、必要な課に届くシステムを取っている。庁内の連携を図りながら、適切な処理を確実に実施していく「相談・苦情・要望の処理」を重点項目の一つとしている。

【小泉】町民に対する多様な発言方法の確保は、意見を行政に届けるためのインフラ整備だと考える。現状認識と今後の展望は。



意見を伝える方法のひとつ
(役場玄関入口「町民の声」)

【小泉】町民の多様性を町政に反映させるためには、立場や視点を共有する代表者を議会に送る必要がある。現状を踏まえ、次期選挙に向けて、どのように機運を盛り上げていくのか。

【町長】人権問題に関わるものや、マイノリティに対応する支援なども対応してきた。広く町民のニーズにこたえ、住みやすく魅力と活気あふれる愛のまちの実現に努める。

を予算計上して対応し、相談者に連絡したり、ホームページで公開したりしている。職員にも公開し共有している。

「部活動の地域移行」に 町はどう関与するか

教育長

指導者確保が課題



おがわ 小川 ゆう

【小川】「部活動の地域移行」について、現場では既に制度が動いている

と感じており、課題も多くある。町として現時点でどのような対応方針やスケジュールを持っているのか。

一律に移行するのか、それとも段階的な対応や試行導入を検討しているのか。

【教育長】町では、部活動に部活動指導員などを配置し、教員が指導に関わらない「地域連携型」を基本とするが、現時点では体制が整っていない部活動もある。

引き続き広報活動や関係団体への働きかけを行ない、準備が整った部活



ソフトテニスの地域クラブも
大会で活躍

動から地域移行に取り組む。

【小川】地域・保護者・行政の連携が不可欠となる中で、町としての関与のスタンスを明確にしてほしい。また、指導者確保や保護者負担の軽減、備品・会場の支援、子どもの声を反映する仕組みづくりについての考えは。

【教育長】県の指導者人材バンクでも登録者が少なく、指導者の確保が難しい。国の動向を注視しつつ、県などの関係機関と連携し地域移行に向けて取り組んでいきたい。

【町長】他町村とも連携し、協力し合って進めていきたい。

自営業者に育児手当の創設を



もり 森 てつや 哲也

町長

限定した支援制度は 考えていない

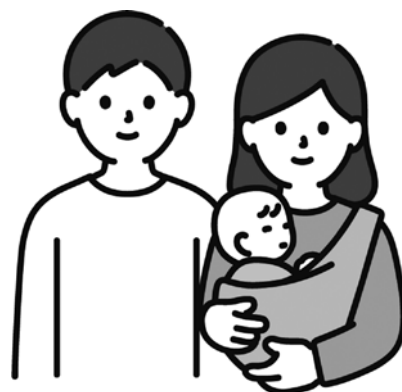
【森】人口が増える要因は一ターンの、Uターンなどの転入と、出生である。そのうち一ターンの、Uターンを希望する人は自営業者の割合が高いが、自営業者は雇用保険の対象外であり、育児休業中の所得補償がないため、廃業のリスクや生活が困窮する恐れ、家庭環境悪化の可能性がある。

町独自に自営業者（地元元々暮らしフリーランス、農家・漁師なども含む）への育児手当を創設することを検討してほしい。

【町長】町では、育児休業給付金の支給を受けられない人が家庭で子育てをする、満2歳になるまで、子ども1人あたり月額3万円を支給している。令和5年度は79件、6年度は90件の支給実績がある。

自営業に限らず、妊婦健康診査の費用助成や出産育児一時金など、幅広く子育て支援をしている。

現在、町独自で自営業者に限定した支援制度は考えていないが、誰もが子どもを産み育てやすい町となるよう取り組んでいきたい。



夫婦とともに子育てを

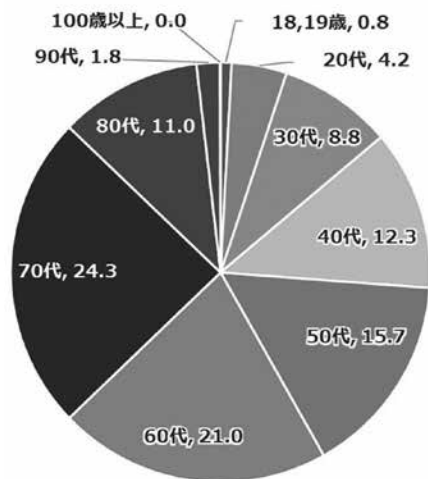
子どもや若者の町への関心・ 愛着を育む取り組み強化を

教育長

成長に応じた ふるさと教育を推進



三谷 佑生
み た に ゆ う き
さん せい



年代別投票者の割合 (%)
(令和7年4月27日執行
湯梨浜町議会議員一般選挙)

【三谷】今回の町議選の投票率は52・74%で、前回より約5ポイント低下した。また、若年層の投票率も低い。投票率の低下や年代・地区での偏りは、選挙に多様な意見が反映されにくい。町はどう受け止め、原因をどう捉えるか。

【町長】原因のひとつには、他町村に比べて、投票率が高い高齢層の人口割合が少なく、投票率が低い若年層の人口割合が多いこともあると思われる。

【町長・教育長】引き続き、町選挙管理委員会とともに、若年層への選挙啓発や主権者教育に取り組みたい。

【三谷】Uターン促進や町の発展には、子どもや若者が町に関心や愛着を持つことが重要。特に幼少期からの体験が大きな影響を持つと考える。町への関心・愛着を育む取り組みの強化を、今後どのように展開していくか。

【教育長】町民の町の歴史や文化財に対する関心は高いと感じており、今後講演会などを開催していきたい。

児童・生徒に対しては、地域との関わりを持ちながら、成長に応じたふるさと教育を推進し、地域に誇りと愛着を持つ子どもたちの育成に努めたい。

【町長】全天候型に対応した遊び場についてはニーズ調査でも様々な意見が寄せられている。町で管理している施設の活用を検討しており、現状では浜児童館（羽合）、文化会館（東郷）、中央公民館泊分館（泊）などを考えている。

また、ハワイ夢広場周辺の活用も県などと相談して検討したい。

スピード感を持って子どもの 遊び場の確保を

町長

町施設利用の在り方を再検討



キッズスペース（中央公民館泊分館）

【三谷】町の限られた資源で、多面的に効果を発揮する展開が重要。旧北浜中学校跡地への企業誘致や公民館の活性化などに向け、子どもの遊び場の確保の視点も踏まえながら進めてはどうか。

【町長】自治公民館の活用を地区の方々と相談しているが進展していないのが現状である。町幹部会で町施設の在り方をもうひとつ進めて検討している。

・三谷議員は、このほかに「道の駅はわいの今後の展開」について質問しました。

農業構造をどう変える

町長

地域に即した構造転換を進める



まつおか 松岡
あきひろ 昭博

【松岡】「食料・農業・農村基本法」が、令和6年10月に改正された。

本町では、同法、農業基本計画、そして石破総理の発言を受け、農業にどのように対応するのか。

【町長】同法に基づき、国・県と連携し、担い手の確保や農地集積、特産品の振興、スマート農業導入など地域に即した構造転換を進める。

【松岡】同法に初めて多様な農業者が位置づけられた。町では多様な農業者にどのように対応するのか。

【町長】自営農や農業法人を含む多様な農業者に對し、町独自の支援策や交付金を活用し、農地保全や収益向上を図る。

【松岡】持続可能な農業構造にいくために、担い手、多様な農業者を問わず、農業者に直接支払方式などで支援してはどうか。

【町長】既存の交付金制度を活用しつつ、持続可能な農業構造の実現に向けて、今後の国の動向を注視し適切に対応していく。



地域農業を支える高齢農業者

山下がり水が居住環境に悪影響

町長

関係部署で対応

【松岡】大雨が降ると山に降った水が水路からあふれ、石や土砂も勢いよく流れだし、家に当たらないかと心配の声がある。また、同様の水が長期間、玄関前を流れているとの声もあり、山下がり水が居住環境に影響を及ぼさないように対応してほしい。

【町長】山下がり水による居住環境への影響について、現場の特定後に関係部署で対応を検討する。

区に限らず個人からの相談も受け付け、町道や水路などの課題に応じた支援を行なっている。



山下がり水の排水路

【松岡】小学1年生は、毎日大きなランドセルを背負って、学校まで歩いて往復するため、帰ってきたときには疲れてしまうとの声がある。

バス通学の距離に多少満たない地域でも、1年生の間だけはバス通学ができないのか。

【教育長】通学距離が2キロメートル未満の小学1年生へのバス通学は、現行では実施していないが、危険な通学路や冬季など状況に応じて柔軟に対応している。体力面の配慮や通学経験も踏まえつつ、今後も地域状況を勘案して判断する。

商品券をやめ、現金給付にしては

町長

さらなる改善を図る



増井 久美



誰でも購入できる価格を
(ゆりはま商品券)

【増井】物価高を何とかしてほしいという多くの声がある。その対策として、商品券発行事業が行なわれているが、本当に困っている人への対策になっていないという声がある。次の3点について聞きたい。

購入者ごとの冊数と購入金額の実績は。

【町長】令和6年度実績では、1人あたりの平均で購入冊数は約4冊、購入金額は約4万円であった。

【増井】町内業者の応援あるいは、育成になっているか。

【町長】令和4年度から町内小規模店分を含めて

利用できる商品券にした結果、小規模店利用が平均約10%伸び、新規顧客の増加、店舗の認知度・販売意欲の向上など、一定の成果があった。

【増井】一度に1万円を支払うのは大変という声も聞く。もっと多くの人が購入できるよう、金額を下げるか、現金給付にしてはどうか。

【町長】現金給付は、住民税非課税世帯などを対象に実施。商品券1冊あたりの減額は検討した。商工会とも対象者・実施期間・金額を検討したが、実現に至らなかった。さらなる改善を図る。

教材費に補助を

町長・教育長

新たな補助は考えていない

【増井】小学校・中学校・高校と、入学時には教材費に多くのお金がかかる。入学してから月々の教材費がかかる。子育て世代を応援するために、教材費の補助を考えてはどうか。

小学校入学時には、算数セット、鍵盤ハーモニカなどが必要になる。これを補助する考えはないか。

【町長】本町では、第3子以降の小学校入学時・中学校卒業時に各3万円を支給している。令和6年10月には児童手当制度が改正され、子育て世帯への経済的支援の拡充もあり、新たな補助は考えていない。

【増井】毎月教材費の集金があるが、補助はできないか。

【教育長】本町では就学援助制度や湯梨浜町給付型奨学金支給制度などを実施しており、追加の補助は考えていない。国の動向を見つつ的確に対応し、保護者の負担軽減に努める。



高校生用のタブレット

【増井】高校は義務教育ではないので、親の負担は大きい。特にタブレット代は5万円以上かかるという。高校生への補助も考えるべきではないか。

【教育長】現在、県立高校では経済的に厳しい世帯にタブレット端末の無償貸与を実施している。

公共施設の縮減は 進んでいるか

町長

概ね計画どおりに進捗



よね だ つよ み
米田 強美

【米田】公共施設の縮減目標は、30年間で20%としている。基準となる平成24年から令和元年末までは、進捗が見られなかったが、現状と達成の見込みについて問う。

また、町営住宅の集約の進め方を問う。

【町長】平成27年に「公共施設等総合管理計画」を策定。本年5月末には、約6・9%の縮減を達成、概ね計画どおりに進捗している。

県営住宅も含め、改修や集約を中長期的視点で見直す。

【米田】羽合西コミュニティ施設は、目標耐用年数の65年が近いが、どの



解体時期は未定、有利な財源の確保が課題（青少年の家）

【町長】解体費用の支援を受けることができるのは、財政的に有利なため、施設の「集約化・複合化」を考慮し、計画の見直しを検討する。

【米田】国は、公共施設適正化計画の策定などを

要件として、使わなくなった施設の解体費用を支援する。町では解体費の負担軽減に向けて取り組みのか。

Uターン就職の推進を

町長

県と連携して取り組む

【米田】Uターン就職が多い年代は22歳で、大学卒業時だと言われている。県はUターン就職に向け、県外大学との連携強化、鳥取とつながり続けてもらう「バーチャルとっとり」など様々な取り組みを行なっているが、どのように連携しているか。

【町長】県はUターン就職者の受け入れを目的に、様々な取り組みを展開している。

地方移住の受け入れは地方創生の重要なテーマで、県全体で定期的な意見交換、転出入の情報や傾向の共有、支援制度の連携協議などを行なっている。今後も、県と連携して取り組む。



若者が帰りたくなる魅力あるまちへ

【米田】東京圏の大学卒業後に、地方へ移住・就職する学生への支援として、国は本年度より「地方就職学生支援事業」を本格実施し、交通費と転居費を支援する。本町での取り組みについて問う。

【町長】東京一極集中が緩和され、地方への人の分散が自然な流れになるよう取り組みを進める。

【教育長】本町では、県の制度に上乘せして助成金を提供する「ふるさと人材育成奨学金支援助成金制度」を実施している。

町民インタビュー

「世界へ広がれグラウンド・ゴルフ！」泊クラブ

(写真向かって左から) 佐藤さん、浜中さん、
山口さん、宮下さん

今回の町民インタビューでは、6月に開催されたグラウンド・ゴルフ発祥地大会(団体の部)で優勝された「泊クラブ」の皆さんにお話をお聞きました。



6月14日と15日の2日間にわたって開催されたグラウンド・ゴルフ発祥地大会(25都府県、168チーム、672人参加)団体の部で優勝することができました。勝敗の決め手はチームワークかな！
潮風の丘とまりは、日本一のグラウンド・ゴルフ場として全国の愛好者から絶大な人気があり、一度は行ってみたい憧れの聖地です。(こ)で毎日練習できる

ことはとても幸せです。グラウンド・ゴルフには、適度な運動量があることや、楽しみながらも程よい緊張感と集中力が生まれること、良いプレーやホールインワンがあれば「ナイス！」「おめでとう！」などの惜しみない声飛び交うことなど、魅力がたくさん詰まっています。
休日には、家族・友達同士・カップル・会社のレクリエーションなどとてもにぎわっています。決して高齢者だけのスポーツではありません。生涯楽しめるこのグラウンド・ゴルフに私たちは熱中しています。初心者も大歓迎です。ぜひ一緒にやってみませんか！
今やグラウンド・ゴルフは日本だけでなく、海外でも愛好者が増えています。湯梨浜町から夢は大きく世界へ広がれグラウンド・ゴルフ！

議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

9月5日(金)～
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。
詳しくは町ホームページへ。

編集後記

議員になって約2か月が経過し、定例会、議会だよりの編集などを慌ただしく経験しました。恥ずかしながらこれまで一般質問を傍聴したこともなく、町政の中でどのようにお互いが言葉を交わし合っているのかを今回初めて目の当たりにしました。それぞれがそれぞれにまなざす町の角度をもとに、誠実に質問、提案、返答を繰り返してまいりました。
議会だよりではそれらを分かりやすく要約して掲載していますが、現場では即興を含めた人間らしいやりとりがあります。ぜひ、議会だよりだけでなく、傍聴やTCCを通じて、町政に注目していただけたらと思います。

(記 森)

【編集】

議会広報常任委員会